

2017 年度入学試験問題 (第 1 回)

社 会

(30 分)

【注 意】

- ① この試験の問題文・設問は、1 ページから 8 ページに印刷されています。
問題は **1** と **2** があります。
- ② 解答は必ず「解答用紙」のきめられたわくの中にはっきり書きなさい。

1 次の文章を読み、設問に答えなさい。

明治新政府が誕生する時、江戸幕府と明治新政府とのあいだで戊辰戦争という大きな戦争がありました。その時に、幕府について敗北した人々と、新政府について勝利した人々とのあいだにできた溝は、今になっても大きな影響を与えています。東北地方にあった会津藩は幕府につきました。中国地方にあった長州藩は新政府につきました。そのために、会津藩の城下町であった会津若松市は、長州藩の城下町であった萩市からの姉妹都市になろうという提案を断り続けています。この背景には、長州藩に負けた会津藩の「うらみ」があると言われています。

① 江戸時代の終わりに幕府への批判が高まると、1867年10月、15代将軍(1)は政権を朝廷に返しました。これに対し、新政府は「(2)の大号令」を出し、これからは将軍ではなく(A)が政治の中心であると宣言しました。さらに、幕府の影響力を取りのぞくために、力で幕府を倒そうとしました。その結果、1868年1月、戊辰戦争が起き、翌年5月まで続きました。

戊辰戦争では会津藩も戦場になりました。会津藩は最後まで激しく抵抗しましたが、その中に16歳から17歳の男子で作られた白虎隊という部隊がありました。この部隊は藩主松平容保の命令を守り、勇ましく戦いました。しかし、城下で起こった火災を見て、城が攻め落とされ、藩主も亡くなったと勘違いし、集団で自殺してしまいます。こうして会津藩は負けてしましますが、白虎隊の戦い方や藩主への忠誠心は、武士の社会では賞賛される行為でした。

戦争が終わると、会津藩はいろいろな面で新政府から冷たくされました。勝者である新政府軍の戦死者は、(A)のために死んだ者として国の施設(東京招魂社、のちの靖国神社)で手厚く祀られました。しかし、会津藩の戦死者は日本国に対する反逆者と見なされ、国の施設に祀られませんでした。そればかりではなく、戦死者を埋葬することも許されず、見せしめのために死体は放置されました。また、1871年に(3)が実施され、福島県が置かれても、会津若松市は県庁所在地とはならず、鉄道の建設も遅れました。

会津の人々は「国家に反逆した」というレッテルを貼られたまま、明治以降の歴史を生きなければなりませんでした。そのために、敗者として味わた「うらみ」

を口にせず，逆に会津藩がどのように日本国に貢献したかを強調して会津の歴史が語られました。例えば，自殺した白虎隊の生き方は「任務や君主に忠実に生きる日本人の素晴らしい精神を表している」と強調されました。1937年7月の盧溝橋事件をきっかけに始まる(4)戦争以降，戦争が長期化すると，会津の人々の主張は日本国民に積極的に受け入れられていきました。

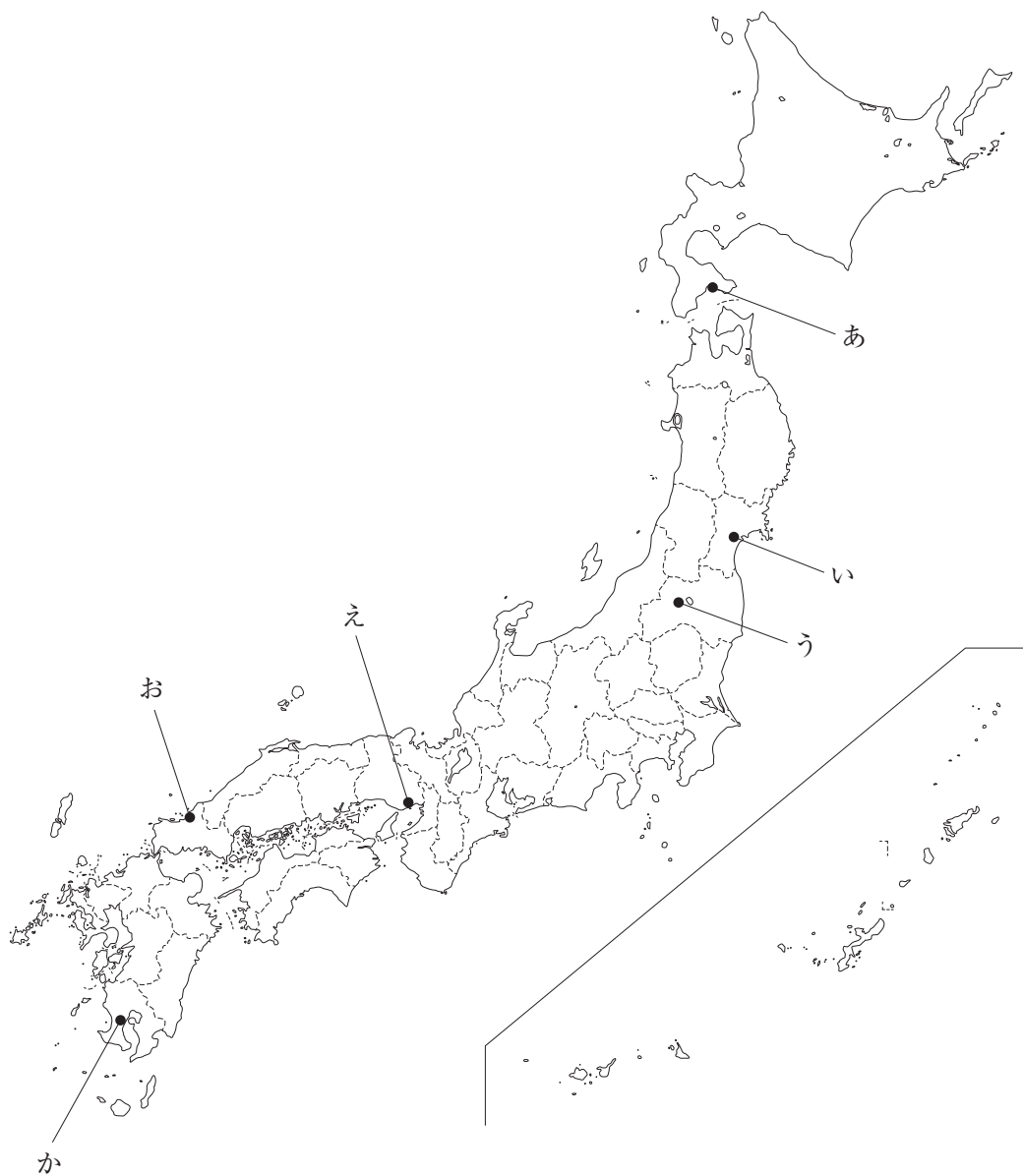
ところが，1945年にアジア・太平洋戦争が終わると，会津の人々の歴史の語り方は変わります。多くの人々が戦争で亡くなり，戦争の悲惨さが身にしみた日本人は，より平和を求める気持ちが強くなります。そのような中で，戊辰戦争での敗者の立場が強調されるようになります。会津出身のある作家は「戊辰戦争の会津藩の悲劇をもっと早く日本人が知っていたならば，太平洋戦争の悲劇は避けられたかも知れない」と主張しました。しかし，このように敗者の立場を強調すると，会津藩の長州藩への「うらみ」を逆に大きくすることになり，今にいたるまで会津若松市と萩市は姉妹都市になることができないでいます。

問1 本文中の(1)～(4)に適切な語句を入れなさい。

問2 本文中に(A)は2か所あります。両方に共通する適切な語句を入れなさい。

問3 下線部①について，会津の人々はどのようなことを「うらみ」と思ったのか，本文中から具体的に3つ答えなさい。

問4 本文中にある萩市と会津若松市のおよその位置を地図中より選び、記号で答えなさい。



問5 下線部②について、なぜ会津の人々の主張は日本人に積極的に受け入れられたのか、本文と[資料1]を読んで答えなさい。

[資料1]

たとえば白虎隊を見よ。あのような少年たちの結束があれだけの戦争をやったのけたのではないか。国難がせまっている。今こそ、日本中の少国民(少年少女のこ)が結束して白虎隊となるべきである。

(石川達三「昭和自衛隊を造れ！」『週刊少国民』1944年2月27日号)

問6 下線部③について、この作家は、会津の歴史から何を学ぶべきと主張しなかったのですか。本文と[資料2]を読んで答えなさい。

[資料2]

この日(会津藩が戊辰戦争で敗北した日)の地獄は、一瞬にして十万余人の生命を奪った広島、長崎の原爆の悲劇におよばなかったのだろうか。犠牲者の数は少なかったにしても、……銃弾にあたってぶっ倒れ、何時間後かに出血多量でこと切れた遺体は、秋の彼岸すぎから翌春の雪どけまで、ドブの中に顔を突っ込んだままになっていたのだから、広島、長崎のピカドン地獄とそんなに違わなかったと思う。

(宮崎十三八『会津人の書く戊辰戦争』恒文社、1993年)

※[資料1]、[資料2]は、読みやすいように表現を変えてあります。

2 次の文章を読み、設問に答えなさい。

子どもが保育所に入れずに困っている家庭が増えています。国の認可を受けた保育所に申し込んだのに入れない、いわゆる「待機児童」の数は全国で2万人を超えています。しかし、出生率の低下で子どもの数が減少しているにもかかわらず、なぜ待機児童数は減らないのでしょうか。その背景には子育てをしながら働く女性が増えたことがあります。専業主婦のいる家庭を、共働き家庭の数が上まわったのは1990年代です。そして、2010年代にはその差はさらに広がりました。

また、子どもの数の減少にともなって、全国では待機児童が減っている自治体が多いにもかかわらず、首都圏などの大きな都市では、逆に深刻となっています。それらの都市では人口流入が激しく、それに対応できない自治体も多いからです。

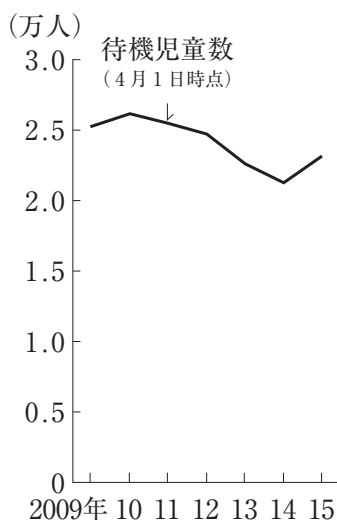
このような現実に対して、国も保育所の定員数を増やす政策を行ってきました。2013年から5年間で40万人分増やす計画で、14年度末には21万人の定員を増やしました。また15年度からは、「子ども・子育て支援新制度」がはじまり、新しい種類の保育施設を認めることにしました。施設をつくる場所が限られる都市部では、小規模な保育所も認められました。ところが、保育所への申込者はさらに増え、15年度に入ると、待機児童は増加に転じました。これに対し、政府は目標定員をさらに10万人分増やし、また緊急対策を自治体に求めました。国は保育所を認める基準として、保育士ひとりが受け持つ子どもの数の上限を定めています。しかし、自治体によっては、手厚い保育をするため、保育士が受け持つ子どもの数を、国の基準より少なくしているところもあります。そのような自治体に、国はもっと多くの子どもを受け入れるよう求めたのです。

また国の目標どおりに保育所の定員を増やすには、新たに9万人の保育士が必要になります。しかし保育士のなり手は不足していて、人数がなかなか確保できません。保育士の平均賃金は、ほかの職業の平均の7割程度。仕事のきつさや責任の重さも指摘されており、働く環境と賃金の改善が求められます。昨年政府は17年度から保育士の賃金を平均2%引き上げる方針を発表しました。

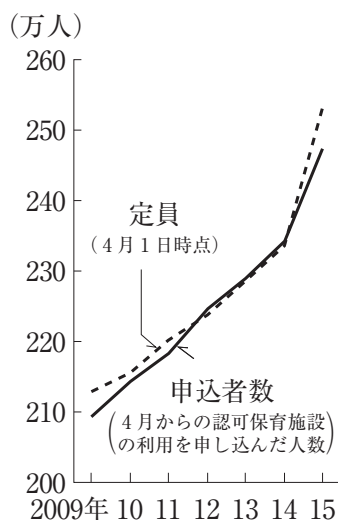
(参考文献：『Monthly juniorAERA』2016.6、『東京新聞』2013.1.23、『朝日新聞』2016.4.8、厚生労働省HP)

問1 資料1のグラフでは2014年から15年にかけて、それまで減っていた待機児童数が増えています。どうしてでしょうか。本文と資料2から考えられる説明を下の選択肢から3つ選び、その記号を答えなさい。

<資料1> 待機児童数の変化



<資料2> 保育所定員と申込者数の変化



『朝日新聞』2016.4.8

<選択肢>

- ア) 保育所の申し込みは増えているが、それ以上に保育所の定員の増加が大きい。
- イ) 都市部などでは、定員を増やしても申込みの急増に追いつかなくなった。
- ウ) 出生率が回復して、全国で子どもが急増している。
- エ) 出産後も共働きを希望する家庭は増加している。
- オ) 育児休業がとりやすくなり一歳になるまで家庭で保育できる家庭が増えた。
- カ) 保育制度が新しくなり、保育所もふえることへの期待から、保育所への申し込み数も増えた。

問2 国が保育所の運営を指導し、支えていくしくみの土台には、子どもの「幸せに生きる権利」や「育つ権利」を保障する日本国憲法の考え方があります。以下に示す文は子どもの保育政策の土台となる条文の一つ、憲法25条の1項です。カッコ内に適切な語句を語群から選び、その記号を答えなさい。

「すべて国民は、(①)で(②)な(③)の生活を営む権利を有する。」

<語群>

ア) 人並み	イ) 最低限度	ウ) 一定程度	エ) 豊か	
オ) 安全	カ) 健康	キ) 幸福	ク) 文化的	ケ) 社会的

問3 政府は保育士の働く条件を改善しようとしていますが、その内容によってはむしろ仕事を大変にするものもあります。それはどのような対策なのか、資料3を参考にしながら、本文からさがし、まとめて記しなさい。

<資料3> 資格があっても保育士の仕事を希望しない理由

1位	賃金が希望と合わない	47.5%
2位	責任の重さ・事故への不安	40.0%
3位	自身の健康・体力への不安	39.1%

(このアンケートは複数回答を認めています)

2013年の厚労省調査から(『朝日新聞』2016.3.18)

問4 認可保育所の運営には税金が使われています。つまり多くの保育所をつくり、運営するためには、それを国民が賛成することが必要です。保育所増設への賛成につながる主張を以下の選択肢から3つ選び、その記号を答えなさい。

<選択肢>

- ア) 子どもは国や自治体に頼らず、それぞれの家庭で責任をもって育てるべきだ。
- イ) 国の借金が大きいので、税金で集めたお金の支出をできるだけ減らすべきだ。
- ウ) 子どもを預けられなければ働けず、生活が苦しくなる人も多い。働く人の権利を保障するべきだ。
- エ) 日本全体の出生率は低いままであるし、待機児童が減っている自治体の方が多い。全国的にみれば、大きな問題ではないのではないか。
- オ) どんな子どもにも質の高い保育環境が与えられるべきで、それは保護者の仕事のあるなしにかかわらない。
- カ) これまで待機児童に数えられていなくても、本当は保育所の利用を希望している家庭はかなりの数にのぼる。そうした家庭への対応も考えるべきだ。

